

工藤 寿久（くどう・じゅきゅう）

1、プロフィール

川柳作家。昭和 31 年川柳入門。弘前川柳社を中心に県内外で活躍。好作家として評価が高く、また弘前川柳社代表として多くの柳人を育成した。

<生没>

1930(昭和5)年1月28日～2001(平成13)年3月13日

<代表作>

川柳句集『津軽村』(1996年刊)

<青森との関わり>

弘前市に生れる。東目屋小学校教諭の後会社員として県内勤務。退職後弘前市で商店経営。

2、作家解説

昭和5年弘前市に誕生。本名良三。昭和23年弘前商業学校卒。同年、東目屋小学校教諭として1年間勤務。昭和25年から52年まで株式会社「吉崎商店」勤務。昭和57年より平成11年まで日用品卸業「かご平」経営。

昭和31年、宮本紗光の門を叩き川柳入門、師事する。昭和34年弘前川柳社同人。昭和43年青森県川柳社同人。昭和45年かもしか川柳社幹事。同幹事となってから幅広い川柳を吸収、杉野草兵等の研究句会「Cの会」に出席するなど作句研鑽に努力。昭和50年県川柳社理事。平成2年宮本紗光死去に伴い弘前川柳社代表、以後死去するまで務める。県内の川柳作家としての評価は高く、その作風は県外まで知られファンも多い。また、県柳人のひとつの目標ともされた。弘前川柳社代表、県川柳社理事として県柳界発展に尽力、多くの柳人を育成した。平成3年日本川柳協会理事、弘前文芸協会副代表。平成11年、句集『津軽村』にて第1回川柳句集文学賞準賞受賞。享年71歳。

3、資料紹介

○『津軽村』

図書

1996(平成8)年

220 mm × 150 mm

川柳句集。著者唯一の句集で、弘前川柳社創立 60 周年記念として出版された。膨大な作品の中から同人の協力により編集、著者の集大成といえる句集である。編集人岩淵黙人。発行人工藤寿久。